



### Ⅲ 平城宮跡等の調査概要

表30 2011・2012年度 都城発掘調査部（平城地区）発掘調査一覧

調査回数	調査地区	遺 跡	調査期間	面 積	調査地	担当者	調査要因	掲載頁
(2011年度)								
488次	6AFJ-Q	左京三条一坊一坪	2011.12.22～2012.3.30	1,632㎡	奈良市二条大路南	諫早直人	建物建設	153
489次	6BYS-Q・P	薬師寺旧境内	2012.1.16～2012.2.24	210㎡	奈良市西ノ京町	石田由紀子	収蔵庫建設	148
490次	6AFJ-G	左京三条一坊十坪	2012.3.12～2012.3.22	84㎡	奈良市二条大路南	馬場 基	住宅建設	152
(2012年度)								
491次	6AFJ-P・Q	左京三条一坊一坪	2012.4.2～2012.7.6	1,872㎡	奈良市二条大路南	山本祥隆	建物建設	153
492次	6BTG-D	東大寺法華堂	2012.4.10～2012.5.28	18.5㎡	奈良市雑司町	青木 敬	学術調査	168
493次	6BFK-G・H	法華寺旧境内	2012.4.23～2012.4.25	54㎡	奈良市法華寺町	海野 聡	住宅建設	144
494次	6AGF-Q・P	左京三条一坊十坪	2012.6.4～2012.6.7	50㎡	奈良市二条大路南	海野 聡	住宅建設	144
495次	6AFJ-P・R	左京三条一坊一・二坪	2012.7.1～2012.10.12	1,845㎡	奈良市二条大路南	川畑 純	建物建設	153
496次	6AFI-R	薬師寺休ヶ岡八幡宮	2012.7.4～2012.7.6	6.6㎡	奈良市西ノ京町	神野 恵	浄化槽設置	179
497次	6AFF-E	左京二条二坊十四坪	2012.7.9～2012.7.24	44㎡	奈良市法華寺町	神野 恵	住宅建設	180
498次	6BSD-M	西大寺旧境内	2012.7.24～2012.8.17	105.5㎡	奈良市西大寺新田町	神野 恵	建物建設	182
499次	6ABN-J	平城宮大膳職地区北方	2012.10.9～2012.10.12	19㎡	奈良市佐紀町	芝康次郎	住宅建設	144
500次	6BYS-L・M	薬師寺食堂	2012.9.24～2013.3.25	1,350㎡	奈良市西ノ京町	石田由紀子	史跡整備	185
501次	6BFK-F・G	左京二条二坊十五坪	2012.11.5～2012.12.14	320㎡	奈良市法華寺町	芝康次郎	宅地造成	197
502次	6AFJ-P・R	左京三条一坊七・八坪	2012.12.3～2013.1.24	424㎡	奈良市二条大路南	芝康次郎	建物建設	144
503次	6ALR-G・6ALQ-H	平城宮東院地区	2012.12.17～2013.5.22	1,015㎡	奈良市法華寺町	小田裕樹	学術調査	146
504次	6BFK-C	法華寺旧境内	2012.10.16～2012.11.5	29㎡	奈良市法華寺町	芝康次郎	住宅建設	205
505次	6BSD-P	西大寺旧境内	2012.2.12～2012.4.26	262.5㎡	奈良市西大寺小坊町	諫早直人	共同住宅建設	144
506次	6AAN-C	平城宮内裏北外郭北方	2013.1.15～2013.1.25	21㎡	奈良市佐紀町	諫早直人	住宅建設	144
507次	6AFC-G	平城京左京一条二坊十五坪	2013.1.28～2013.2.1	8.2㎡	奈良市法華寺町	諫早直人	住宅建設	144
508次	6BSD-N	西大寺旧境内（重点地区）	2013.2.4～2013.2.6	63㎡	奈良市西大寺小坊町	小池伸彦	共同住宅建設	144
509次	6ABN-J・K	平城宮跡大膳職地区北方	2013.2.5～2013.2.13	13㎡	奈良市佐紀町	諫早直人 鈴木智大	住宅建設	144

表31 2012年度 都城発掘調査部（平城地区）小規模調査等の概要

調査回数	遺 跡	調 査 の 概 要
493次	法華寺旧境内	住宅の新築工事にともなう事前の発掘調査で、調査地は現法華寺境内の南方に位置する。地表下約2.1mまで掘削し、地山面で東西溝1条を検出したが、そのほかには、顕著な遺構は見られなかった。
494次	左京三条一坊十坪	住宅の新築工事にともなう事前の発掘調査で、調査地は平城宮南面大垣の南方に位置する。地表下約1.3mまで掘削し、整地面で近代のものと思われる礫の詰まった暗渠1条、小穴などの遺構を検出したが、そのほかには顕著な遺構は見られなかった。
499次	平城宮大膳職地区北方	個人住宅建設にともなう調査。南北2m、東西5.5mおよび、南北2m、東西4mの調査区を設定した。地表下約1.5m（H=74.3m）で黄褐色粘質土の地山を確認した。現代の攪乱を大きく受けていたが、調査区の一部において、地山直上に古代の土器、瓦を含む整地土を確認した。遺構は検出されなかった。
502次	左京三条一坊七・八坪	北新大池池底に南北4m、東西45mの北調査区と、南北4m、東西44m、さらにそこから南北12m、東西4mのL字状の南調査区を設定した。北調査区では、池底面の標高が遺構面から約1m前後低く、かつ以前の池底造成により強化剤が浸透していたため、顕著な遺構は確認できなかった。南調査区でも類似の状況であったが、標高61.0～61.5m前後での古代の土器や瓦を含む5基の土坑を検出した。池底の南方では遺構が残存していることを確認した。
505次	西大寺旧境内	共同住宅新築にともなう事前の発掘調査で、南北17.5m、東西15mの調査区を設定した。薬師金堂の西妻に取り付け複廊形式の軒廊や西面回廊を構成する礎石据付穴と、雨落溝、石敷きの暗渠状遺構を検出した。また西大寺創建にともなう整地の下層にも複数の整地面とそれらを掘り込む柱穴などを確認した。西大寺創建以前の宅地にともなうと推定できる。西大寺創建瓦を含む大量の瓦類と、奈良時代～平安時代を中心とした土器類などが出土した。
506次	平城宮内裏北外郭北方	住宅の新築工事にともなう事前の発掘調査で、調査地は平城宮跡内裏北外郭の北方に位置する。地表下約1.1mまで掘削し、整地土および地山を掘り込むいくつかの土坑を検出したが、いずれも近代のもので、そのほかには顕著な遺構は見られなかった。
507次	平城京左京一条二坊十五坪	住宅の新築工事にともなう事前の発掘調査で、調査地は平城京左京一条二坊十五坪北部に位置する。地表下0.3～0.5mまで掘削し、整地面で柱穴を1基検出した。柱穴の抜取穴からは奈良時代の土器片・瓦片が出土している。
508次	西大寺旧境内	現地地表下約70cm（標高74.80m前後）の礫混じり黄褐色粘質土（地山）層上面で遺構を検出した。掘立柱建物2棟（奈良時代）、東西溝1条（中世以降）、小穴16基（時期不詳）を検出した。瓦類コンテナ7箱分、土器類コンテナ1箱分が出土した。
509次	平城宮跡大膳職地区北方	個人住宅建設にともなう調査。南北6.5m、東西2mの調査区を設定した。地表下約0.9m（H=74.3m）で赤褐色砂質土の地山を確認した。直上で遺構検出をおこない、掘立柱の柱穴および礎石痕跡を各1基、確認した。礎石採取痕跡からはI期の軒丸瓦が出土した。

表32 2012年度 都城発掘調査部（平城地区）現場班編成 ※総担当者

春	夏	秋	冬
青木 敬（考古第二）	小池 伸彦（考古第一）	芝 康次郎（考古第一）	諫早 直人（考古第一）
渡辺 丈彦（考古第三）	神野 恵（考古第二）	※石田由紀子（考古第三）	※小田 裕樹（考古第二）
※山本 祥隆（史料）	※川畑 純（考古第三）	馬場 基（史料）	渡辺 晃宏（史料）
海野 聡（遺 構）	松下 迪生（遺 構）	箱崎 和久（遺 構）	鈴木 智大（遺 構）
		荒田 敬介（考古第二：研修）	
総括：副所長 深澤 芳樹		写真担当：企画調整部写真室	